

1 電子ジャーナルの使い方

この文書では、京都大学で利用できる電子ジャーナルの使い方について説明します。

電子ジャーナルとは、インターネットのウェブサイト上で公開されている学術雑誌です。現在では、日本語のものも含めて多くの雑誌が PDF などの形式で公開されています。京都大学では、以下のページから、電子ジャーナルにアクセスできます。

- 「京都大学図書館 - 電子ジャーナルリスト」

<http://edb.kulib.kyoto-u.ac.jp/gakunaiej.html> (閲覧日: 2009 年 12 月 3 日)

また、京都大学蔵書検索 (KULINE) で雑誌を検索する場合、電子ジャーナルが提供されている雑誌の詳細情報を参照すると自動的に電子ジャーナルへのリンクが表示されます。

- 「京都大学図書館機構 - KULINE から 1 クリックで電子ジャーナルへ」

<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/modules/bulletin/article.php?storyid=446> (閲覧日: 2009 年 12 月 3 日)

なお、多くの電子ジャーナルは、学内からのアクセスに限定されていて、かつ、アクセスするために情報環境機構の教育用コンピュータシステムのアカウント (ECS-ID) が必要になります。ECS-ID を取得していない場合は、取得しましょう。詳細は情報環境機構のページをご覧ください。

- 「利用コード (ECS-ID) の取得：情報教育支援サービス (京都大学情報環境機構)」

<http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/services/ecs/account/> (閲覧日: 2009 年 12 月 22 日)

また、提供元の出版社の使用許諾条件にもよりますが、個人利用の範囲を超えた、プログラムなどを使った大量のダウンロードは禁止されています。「大量」というのがどのくらいなのか一概には言えませんが、手動でも、あるジャーナルの論文を端から順番にダウ

ンロードしていただいても問題とされることもあるようです。そのようなことが起こると、学内全体からのアクセスが遮断され、場合によっては今後利用できなくなる可能性があります。実際、年に数回は、アクセスが遮断されることがあります。ちょうど、この文書の執筆時点でアクセスの遮断が行われている電子ジャーナルがあります。下記リンクによると、8秒間で96アクセスが行われていたことなどが原因で遮断されたようです。電子ジャーナルの使用方法には、くれぐれも注意して下さい。

- 「京都大学図書館機構 - 【トラブル】ACSの電子ジャーナルにアクセスできなくなっています (12/22 16:30-)」
<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/modules/bulletin/article.php?storyid=615> (閲覧日: 2009年12月22日)